

激動の転換期、社会福祉士の実践をどう導くか。

激動の転換期に おける倫理綱領の実装

ミクロ・メゾ・マクロをつなぐ 今日的ソーシャルワーク実践

パンデミック、AI技術の急速な進展、物価高騰、災害の頻発、
孤立・孤独の深刻化、多文化共生の要請——社会の前提が大きく
揺らぐいま、社会福祉士の倫理綱領は実装をどのように導くのか。
個別実践にとどまらず、地域の仕組みづくりや制度の狭間を
埋める実践までを視野に、今日的なソーシャルワークを考える
研修会です。

2026年度 第1回 保健医療委員会研修会

日時 | 2026年12月5日(土) 14:00~17:00
(受付開始 13:30)

会場 | 米子コンベンションセンター 第5会議室

参加費 | 会員無料 / 非会員 2,000円

対象 | 鳥取県社会福祉士会 会員、
鳥取県内および松江医療圏の医療ソーシャルワーカー等

定員 | 40名程度(先着順)

申込

鳥取県社会福祉士会ホームページ

受付開始 | 2026年9月4日(金)~

定員になり次第締切



PROGRAM

第1部 【招待講演】

「激動の転換期における倫理綱領の実装
ミクロ・メゾ・マクロをつなぐ
今日的ソーシャルワーク実践」

講師 | 林 真紀 氏
特定医療法人社団勝木会
やわたメディカルセンター
地域連携部 副部長



第2部 【パネルディスカッション】

モデレーター | 林 真紀 氏 / 河村 香苗 氏 (鳥取大学医学部附属病院)

会員実践報告 | 長谷川 沙織 氏 (鳥取市立病院)

三村 政樹 氏 (医療法人真誠会医療福祉連携センター)

磯邊 佳恵 氏 (鳥取県済生会境港総合病院)



懇親会 | 大衆酒場 フタバ 鳥取米子店
18:00~20:00 / 会費 5,000円(任意参加)



主催 | 一般社団法人 鳥取県社会福祉士会

企画 | 保健医療委員会